

特集

第10回津山国際総合音楽祭コンサート紹介【クラシック部門&市民参加イベント】

平成29年10月21日(土)～11月26日(日)

プレ期間 平成29年9月3日(日)～10月20日(金)

今回はクラシック公演部門の7コンサートと市民参加イベントをご紹介します。

クラシック部門7公演

リコーダー

■「**笛の楽園**」に遊ぶ

フランドル楽派(15世紀)に始まるリコーダー-500年のパノラマ

● 10月13日(金) 津山洋学資料館(津山市西新町5)  
18:30開演(18:00開場)

出演：講師／船山信子(上野学園大学元学長)  
リコーダー演奏／ヴェルター・ファンハウヴェ、  
田中せい子、  
ダニエレ・ブラジエッティ

レクチャー：フェルメールの絵の中の音楽  
演奏曲目：J. ベルビロー／1人の女性が、美しい女  
J. ファンエイク／「笛の楽園」より 他  
料金：1,000円 ※全席自由

■船山信子のレクチャー(お話)と、リコーダー界の巨匠と屈指の名手2人のリコーダー・トリオによる聴きどころ満載のコンサートです。



▲写真左よりダニエレ・ブラジエッティ、ヴェルター・ファンハウヴェ、田中せい子

■ **マーラー交響曲第4番演奏会**

● 10月21日(土) 津山文化センター大ホール  
15:00開演(14:30開場)

出演：指揮／下野竜也  
(京都市交響楽団常任首席客演指揮者)

ソプラノ／今久保宏美  
管弦楽／京都市交響楽団  
演奏曲目：R. シュトラウス／交響詩「死と変容」Op.24  
G. マーラー／交響曲第4番ト長調

料金：一般／5,000円  
高校生以下／無料(要整理券) ※一部招待制  
※全席自由

■下野竜也指揮、京都市交響楽団にソプラノ独唱に今久保宏美を迎え、「マーラー交響曲第4番」を演奏します。



▲下野竜也  
(c) Naoya Yamaguchi

下野竜也さん(指揮者)メッセージ

伝統ある津山国際総合音楽祭に参加させて頂けることを嬉しく思います。互いに認め合っていたリヒャルト・シュトラウスとマーラーという稀代の作曲家にして大指揮者の傑作を、創立61周年目を迎え、さらなる飛躍を目指す京響の輝かしくもあたたかい響きをお楽しみください。私自身、初めて訪れる津山で皆様との出会いを楽しみにしています。

■ **第35回記念「津山第九演奏会」**

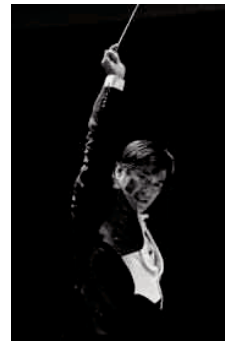
● 10月29日(日) 津山文化センター大ホール  
14:00開演(13:30開場)

出演：指揮／藤岡幸夫  
(関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者)  
ソリスト／坂口裕子(ソプラノ)、西原綾子(アルト)、  
谷浩一郎(テノール)、落合庸平(バス)  
コンサートマスター／芦原 充  
管弦楽／津山交響楽団  
合唱／津山第九合唱団(公募)

演奏曲目：ベートヴェン／歌劇「フィデリオ」序曲  
ベートヴェン／交響曲第9番ニ短調作品125「合唱付」  
料金：一般／2,000円  
学生／1,000円  
※全席自由

共催：津山第九をうたう会

■第35回を迎える津山第九演奏会を祝して、藤岡幸夫の指揮のもと、若手ソリストと津山交響楽団、一般公募による合唱団との共演プログラム。高らかに第九を歌いあげます。



▲藤岡幸夫 (c) SHIN YAMAGISHI

■ **小林真理メゾソプラノリサイタル**

～マーラーの「子供と魔法の不思議な角笛」と民謡～  
● 11月2日(木) 音楽文化ホール・ベルフォーレ津山  
18:30開演(18:00開場)

出演：メゾソプラノ／小林真理 ピアノ／棚田文紀  
演奏曲目：G. マーラー／「子供の不思議な角笛」より  
魚に説教するバドヴァの聖アントニウス  
高き知性への賛歌 他  
間宮芳生／「日本の民謡集」より南部牛追唄 他